

橋面から下降しサブロープを使って主桁にアプローチ

使用頻度: 🧑‍🔧 🧑‍🔧 🧑‍🔧 🧑‍🔧 🧑‍🔧

難易度: 🧑‍🔧 🧑‍🔧

ロープアクセス技士レベル: 2~3

1. アンカーを作成



高欄や車両防護柵に2点以上の支点をとりアンカーを作成します。支点のうち1点は支柱を使うようにしましょう。
アンカー作成は橋面での作業です。車両、歩行者の通行を妨げないように注意、配慮を心がけましょう。

2. 仮荷重テスト



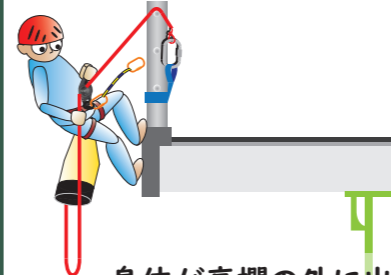
橋面での仮荷重テストは十分な荷重をかけるのが難しい場合があります。その際は見た目や触診により高欄の健全度を図り、少しでも不安のある場合は使用を控えましょう。

3. 高欄を乗り越える



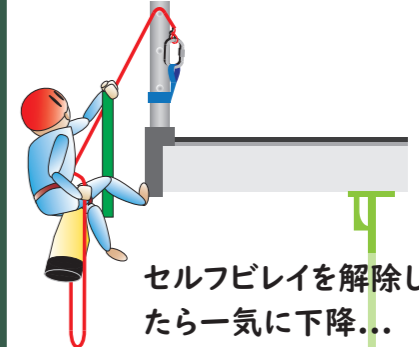
セルフビレイを確認し下降器にロープをセットして、いよいよ下降開始です。器材やロープ、ロープバックが交錯しないよう慎重に高欄を乗り越えます。

4. 動作チェック



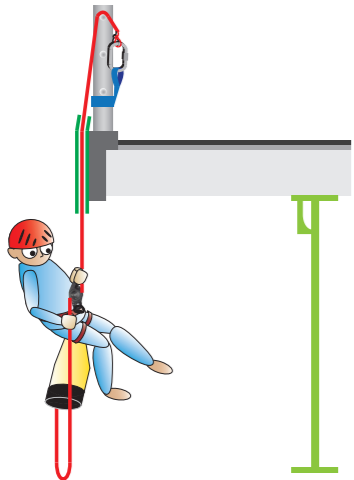
身体が高欄の外に出たら慎重に下降器(ロープ)に体重を掛けます。完全に下降器(ロープ)に体重が掛かったら器具の動作チェックをしてセルフビレイを解除します。

5. ロープガード



セルフビレイを解除したら一気に下降...してはいけません。地覆とロープの擦過を防ぐためロープガードを取付ましょう。

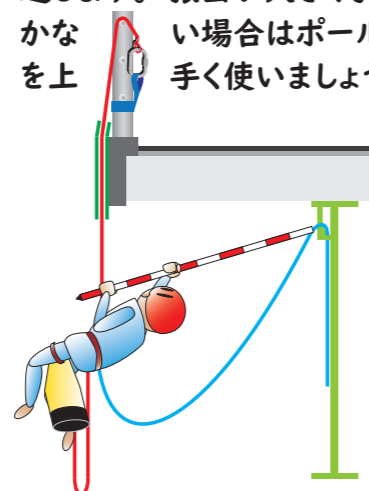
6. 床版下面へ



床版下面まで下降したら静止しサブロープを取り出しましょう。

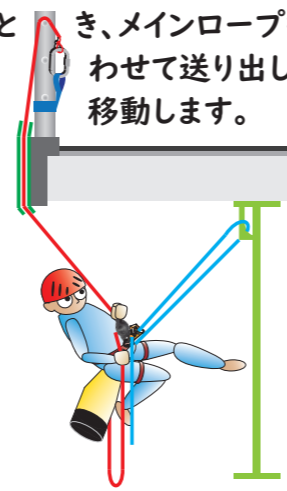
7. サブロープ取付け

主桁の吊り金具にサブロープを通します。張出が大きく手が届かない場合はポールなどを上手く使いましょう。



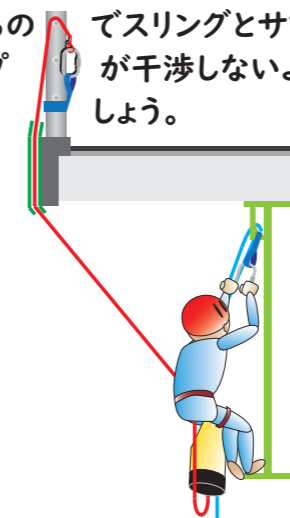
8. 主桁へ移動

吊り金具に通したサブロープを引っ張りこみ主桁へ近づきます。このとき、メインロープも動きに合わせて送り出しスムーズに移動します。



9. リビレイ

吊り金具にリビレイします。リビレイ後はサブロープを回収するのでスリングとサブロープが干渉しないようにしましょう。



10. 完了

橋面から下降しサブロープを使って主桁にアプローチ、完了!

